

障がいのある方の雇用に取り組む

クリーンスペース株式会社(京都市伏見区)

「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容：廃棄物再生事業、資源ゴミリサイクル等

【障がいのある方が従事している仕事】
資源ゴミの選別、ラベル剥がし、圧縮作業、等

【雇用のきっかけと現状】

- ・障がい者授産所と業務交流をする中で、障がいのある方が、取り組める事業を検討しはじめました。障がいのある方が活躍しておられるある事業所の見学をきっかけに、平成18年にペットボトルの再資源化事業とともに障がい者雇用を開始しました。
- ・現在、6名の知的障がいのある方が働いています。勤続14年目が4名、12年目が1名、令和2年採用が1名となっています。
- ・今年採用の方は、特別支援学校の2年時・3年時と実習に来られ、採用になりました。



【工夫していること】

- ・ラベル剥がし機、キャップ自動分離器、異物除去装置、圧縮機の導入など、自動化と安全確保を図っています。
- ・個々に応じた勤務日・勤務時間の配慮をしています。
- ・以前に精神障がいのある方で、結婚を機に雇用条件を上げたところ、却ってプレッシャーとなったことがありました。課題が大きいと「頑張ろうとする自分」と「頑張れない自分」の葛藤が起こります。色々なことをしてもらおう中で、得意なことを見つけやってもらう環境づくりを考えています。
- ・カラオケ、ボーリング、食事会、など色々な体験を通して、個々の長所を見つけ仕事に活かすようにしています。

【TさんとOさんに聞きました】

- ・14年目になります。ペットボトルの圧縮機の操作ができます。
- ・特に縛るための紐のセットが難しいですが、練習してスムーズにできるようになりました。
- ・皆と協力して作業ができ、やり甲斐があります。
- ・休みは、友達と遊び、映画やサッカー観戦に行きます。(Tさん)
- ・14年目になります。仕事は面白い。ポリタンクのラベルを剥がし、洗うことができます。
- ・ペットボトルの作業も楽しいです。
- ・休みは、Tさんと映画やサッカー観戦に行きます。(Oさん)

